

申 請

平成 29 年 10 月 5 日

原子力災害対策本部長
内閣総理大臣 安 倍 晋 三 様

宮城県知事 村 井 嘉 浩

原子力災害対策特別措置法（平成 11 年法律第 156 号）第 20 条第 2 項に基づく
平成 29 年 7 月 24 日付け指示について、下記のとおり申請する。

記

- 1 次に掲げる品目について出荷制限を解除すること。
宮城県色麻町において産出されたしいたけ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）
宮城県栗原市（旧若柳町の区域に限る。）において産出されたたけのこ
- 2 解除を申請する理由
別紙 1, 2 参照

出荷制限解除後の出荷管理と検査計画

1 出荷制限を解除する範囲

出荷制限が指示され宮城県色麻町において産出されたしいたけ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）

2 経過及び解除申請の理由

平成24年5月7日に、色麻町の原木しいたけ（露地栽培）1検体から一般食品の基準値（100Bq/kg）を超える放射性セシウム（180Bq/kg）が検出されたため、同年5月9日に出荷制限が指示された。

原木しいたけが基準値を超えた原因は、しいたけの栽培基盤であるほだ木の汚染と考えられたため、町内の指標値（50Bq/kg）を超過したほだ木を廃棄し、汚染度の低い原木を県外から導入し、入れ替えるとともに県栽培管理基準によりほだ木の汚染を防止する管理を指導した。

今回、色麻町内の生産者1名のほだ場について、県栽培管理基準に基づいた管理が確認できたことから、当該ロットの発生前ほだ木及び発生したしいたけの検査を実施した。

今回の検査の結果、きのこ（6検体）は平均値12.2Bq/kg、最大値23Bq/kgですべて基準値の2分の1以下となり、発生前ほだ木（6検体）についても、平均値6.8Bq/kg、最大値15Bq/kgであったことから、基準値を超過するしいたけが生産される可能性は極めて低いと推定できる。

3 宮城県色麻町における管理計画

(1) 県栽培管理基準の実施

ア 生産者の管理

宮城県は色麻町と連携し、色麻町内で原木しいたけの栽培を行う生産者について、生産者ごとに、ほだ場所在地、ほだ木本数、原木産地、植菌年度、検査結果等を記録した生産者台帳を整備する。記載内容等の変更があった場合は、その都度更新することにより、生産者及びほだ場の管理を行う。

イ 県栽培管理基準に即した生産の実施

宮城県は、国が示すガイドラインに基づき策定した県栽培管理基準により、色麻町内で原木しいたけ（露地栽培）の生産再開に取り組む生産者に対して、定期的に立ち入り検査を実施し、管理が適切に実施されていることを「栽培管理チェックシート」等で確認し、必要に応じて指導・支援を実施する。

生産者は、原木の購入先、取組事項の状況、ほだ木やきのこの検査結果を「栽

培管理チェックシート」に記録することにより管理を行う。

ウ 県栽培管理基準の概要

(ア) 原木の管理

- ① 指標値以下の原木を使用する。
- ② 粉じん、土、腐植層などが付着、接触しないように、原木をブロックなどの上に置き、シートで覆う。

(イ) 低減対策の実施

- ① ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面に付けない。
- ② ほだ木への土の跳ね返りを防ぐため、砂利、木材チップ、かや、シートなどを敷く。

(ウ) しいたけ発生前ほだ木の検査

指標値以下のほだ木を使用する。

(エ) しいたけの検査

一般食品の基準値以下であることを確認する。

エ 指標値を超えたほだ木及び基準値を超えたしいたけの処分

指標値を超えたほだ木は、事前に市町村の廃棄物担当部署と相談の上、適切に処分する。

基準値を超えたしいたけは、廃棄するとともに、当該しいたけが生産されたほだ木については、再検査するよう指導する。

(2) 出荷制限解除後の出荷管理

ア 原木しいたけ生産者登録制度

宮城県は色麻町と連携し、出荷制限解除後の色麻町産原木しいたけの出荷について、県栽培管理基準に即して生産された原木しいたけのみが出荷される体制を構築し、安全な色麻町産原木しいたけの流通を図るため、原木しいたけ生産者登録制度による出荷管理を行う。

イ 制度の概要

県栽培管理基準に即した生産を確認できた色麻町内の生産者は、宮城県が認証登録を行い、当該生産者及び色麻町に通知する。また宮城県と色麻町は、ホームページで承認登録者氏名・住所を公表し、JA、直売所、卸売市場等への周知を行う。

認証登録された生産者が出荷する場合は、出荷物に登録者住所・氏名を表示し、併せて認証登録通知の写しを添付する。

宮城県と色麻町は、認証登録された生産者に対し、定期的に立ち入り検査を実施し、管理が適切に実施されていることを「栽培管理チェックシート」等で確認

する。

県栽培管理基準に適合しないことが確認された場合や認証登録の不正な使用が確認された場合は、当該生産者に対し、原木しいたけを出荷しないよう指導し登録を抹消する。

宮城県と色麻町は、JA、直売所、卸売市場等に対し、色麻町産原木しいたけの入荷の際には、生産者から提示された認証登録証をもとに、出荷可能な生産者の出荷品であることの確認を要請する。また、認証登録証の提示がない場合や認証登録された生産者でないことが判明した場合は、色麻町に報告するよう依頼する。

宮城県と色麻町は連携して、適切な出荷管理が実施されているか確認する。

(3) 解除後の検査計画

ア 県栽培管理基準に基づく出荷前検査

ロットごとに1検体の出荷前検査

イ 宮城県の定期的検査

出荷期間中に色麻町内で毎月1検体の定期的検査

(4) 検査により基準値を超える結果が判明した場合の対応

宮城県は、速やかに色麻町産原木しいたけの出荷自粛を要請するとともに、宮城県の定期的検査により基準値を超えた場合は、出荷中の原木しいたけの回収を併せて要請する。

(5) 新たに出荷再開を認める判断基準

今後生産予定の生産者及び生産休止中の生産者については、宮城県が下記の要件をすべて満たすと認め、国の確認をもって、当該生産者を認証登録した場合に出荷できるものとする。

ア 県栽培管理基準に即した生産が確認できること。

イ 原木しいたけの検査結果が一般食品の基準値を十分下回っていること。

ウ 生産者台帳が整備されており、常に点検・更新ができる体制が整備されていること。

(6) 関係者への周知

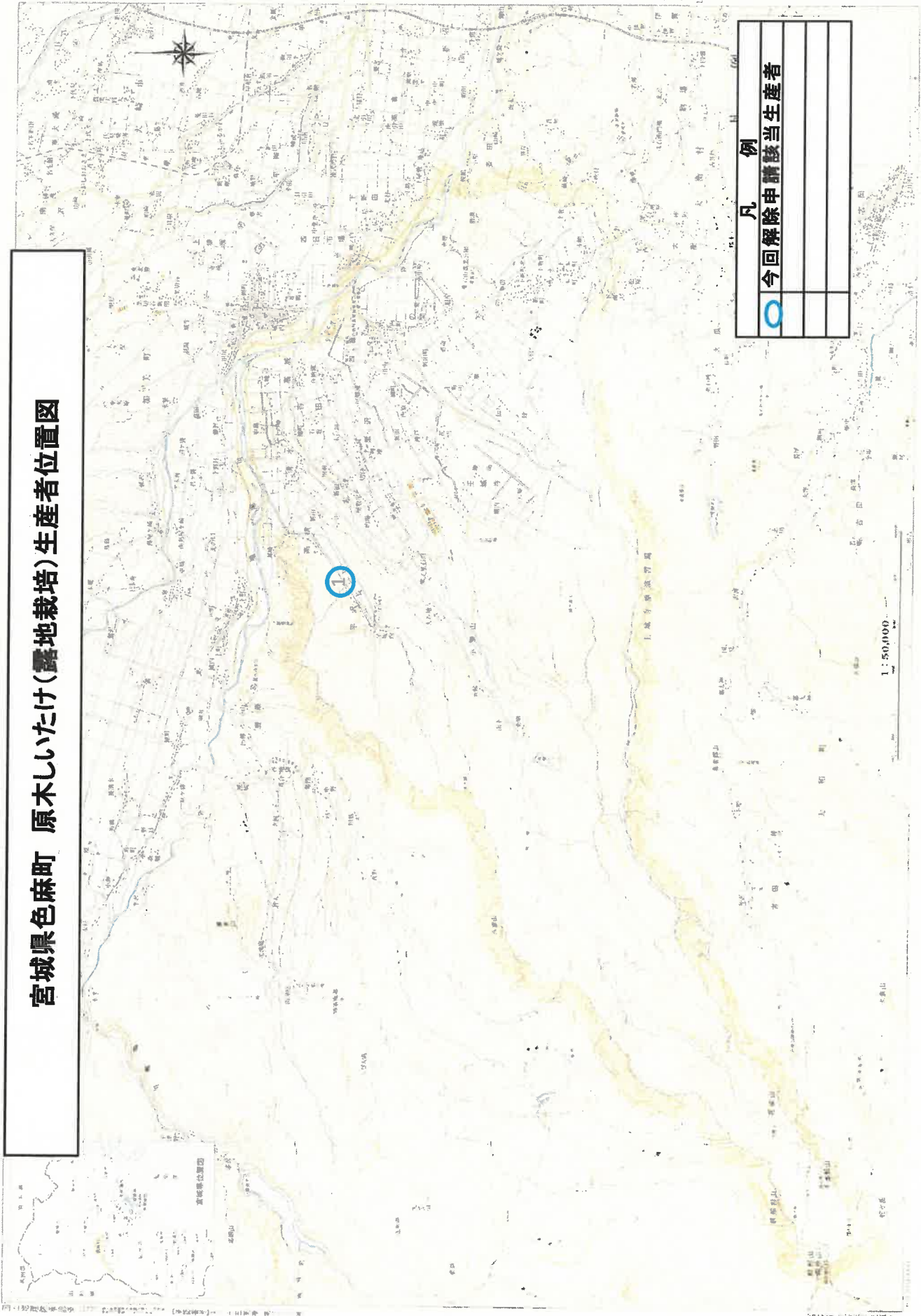
宮城県は色麻町と連携し、本計画の内容について、生産者・流通業者等に周知を図るとともに、関係機関・団体に協力を求める。

宮城県色麻町の原木しいたけ(露地栽培)検査結果

生産者番号	所在地	ロット番号	きのこ		発生前ほだ木 (参考)
			結果判明日	Cs合計 (Bq/kg)	Cs合計 (Bq/kg)
1	色麻町志津 字鷹巣石湊	1 (H27植菌)	H29/5/19	<9.3	
			H29/5/19	<9.6	
			H29/5/19	<7.9	
			H29/5/15		<5
			H29/5/15		5.0
			H29/5/16		<6
1	色麻町志津 字鷹巣石湊	2 (H28植菌)	H29/6/16	23.0	
			H29/6/16	22.0	
			H29/6/16	15.0	
			H29/6/13		6.0
			H29/6/13		15.0
			H29/6/13		9.0
検体数				6	6
平均値				12.2	6.8
最大値				23.0	15.0
標準偏差				8.9	4.7

注:平均値等の算出には、ND(不検出)のデータについては、検出下限値の1/2を代入して計算した

宮城県色麻町 原木しいたけ(露地栽培)生産者位置図



凡例

○ 今回解除申請該当生産者

1:50,000

平成 年
 放射性物質低減のための
 原木きのこ栽培管理チェックシート兼作業日誌(露地栽培)

■記録シート(栽培管理を行った証明となりますので、原木の購入や放射性物質の検査、出荷等を行った際に必ず記録して下さい。)

- 栽培管理記録.....【記録シート①】
- 出荷・販売記録.....【記録シート②】
- 栽培管理経費記録【記録シート③】

■チェックシート 必須 は必須項目です。

(行程ごとに実施したものをチェックして下さい。)

- 必須 原木の管理.....①, ②
- 原木の洗浄.....③
- 植菌.....④
- 必須 購入ほだ木の管理.....⑤
- 仮伏せ.....⑥
- 本伏せ.....⑦
- ほだ木の洗浄.....⑧
- 必須 発生前ほだ木の管理.....⑨
- 発生・休養.....⑩
- 収穫.....⑪
- 必須 きのこの管理.....⑫
- 乾燥.....⑬
- 選別・包装・保管.....⑭

共通事項

■作業日誌 (1月～12月)

(作業を行った日に記載して下さい。)

栽培品目	生産者氏名
住所	
電話番号	

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。

※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲でできる限りの取組を行いましょ。う。

※栽培管理経費については、経費が発生した証拠となるため領収書等と併せて記録保存しておきましょう。

【チェックシート①～③】放射性物質低減のための原木きのこ(露地栽培)栽培管理取組事項

※ロットNo.欄に実施した取組事項に○をしてください。

生産者氏名()

1ページ

【伐採・立木購入、購入原木、原木の洗浄管理】

行程番号	行程	区分	取組事項	ロットNo.1	No.2	No.3	No.4	No.5
① (必須)	自伐、立木購入 の原木の管理	購入時の確認、取扱	・指標値(50Bq/kg)以下の原木を使用しましたか ・粉塵、土、腐植層など付着、接触しないように、原木をブロックなどの 上に置き、シートで覆いましたか					
② (必須)	購入原木の管理	購入時の確認、取扱	・指標値(50Bq/kg)以下の原木を使用しましたか ・粉塵、土、腐植層など付着、接触しないように、原木をブロックなどの 上に置き、シートで覆いましたか					
③	原木の洗浄	原木の放射性物質質量 の低減	・流水しながら洗浄機、高圧洗浄機、ブラシ等により原木を洗浄しました か ・洗浄時に発生した、沈殿物・浮遊物を減過し回収しましたか					

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。

※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲での取組を行いましよう。

【チェックシート④-1～⑤】放射性物質低減のための原木きのこ(露地栽培)栽培管理取組事項

※ロットNo.欄に実施した取組事項に○をしてください。

生産者氏名()

【植菌(野外・施設)、購入ほだ木の管理】

行程番号	行程	区分	取組事項	ロットNo.1	No.2	No.3	No.4	No.5
④-1	植菌 野外	空間線量率の測定	<ul style="list-style-type: none"> 空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行いましたか 原木、ほだ木はシート、ブロックなどの上に置き、直接地面に付かないようにしましたか 種菌は室内に保管しましたか 植菌作業は地面に接触させず、シートなどの上で行いましたか 使用器材はシートなどを使用し、直接地面と接触させないように置きましたか 					
		放射性物質の低減	<ul style="list-style-type: none"> 空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行いましたか 表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷きましたか 施設(ハウス)周辺にスギ・ヒノキなど常緑針葉樹林がある場合、枝葉を除去しましたか 既存施設(ハウス)は、シートの張り替え、洗浄を行いましたか 					
④-2	植菌 施設内	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ハウスのシート、施設(ハウス)の出入り口を二重にしましたか 施設(ハウス)内専用の履き物を用意しましたか 原木・ほだ木を施設(ハウス)内に持ち込む場合、原木・ほだ木に付着した粉塵、土などを洗浄しましたか ハウス内の清掃、洗浄を行いましたか 種菌は室内に保管しましたか 原木・ほだ木はシートやブロックなどの上に置き、直接地面につけないようにしましたか 					
		放射性物質量の低減	<ul style="list-style-type: none"> 指標値(50Bq/kg)以下のほだ木を使用しましたか 粉塵、土、腐植層など付着、接触しないように、ほだ木をブロックなどの上に置き、シートで覆いましたか 					
⑤(必須)	購入ほだ木の管理	購入時の確認、取扱						

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。
 ※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲で行いましょう。

【チェックシート⑥-1】放射性物質低減のための原木きのこ(露地栽培)栽培管理取組事項

※ロットNo.欄に実施した取組事項に○をしてください。

生産者氏名()

【仮伏せ(野外)の管理】

3ページ

行程番号	行程	区分	取組事項	ロットNo.1	No.2	No.3	No.4	No.5
⑥-1	仮伏せ 野外	空間線量率の測定	<ul style="list-style-type: none"> 空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行いましたか 					
		環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 下層植生、落葉等腐食層、表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷きましたか スギ、ヒノキなど常緑針葉樹林内の場合、遮光も勘案しながら枝葉の除去をしましたか。 直接スギなど枝葉から垂れる雨水が当たらないように、ほだ木を列ごとにシートで覆いましたか ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけないようにしましたか ほだ木への土の跳ね返りを防ぐため、砂利、木材チップ、かや、シートなど敷きましたか 散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用しましたか 山水を使用する場合は、放射性物質の値を確認し浮遊物、沈殿物を除いて使用しましたか 貯水槽は洗浄後使用し、ふた等をしましたか。貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理しましたか 空間線量率の高い場所からの風を入れないように防風ネットを活用しましたか 					

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。
 ※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲で行いましょう。

【チェックシート⑥-2】放射性物質低減のための原木きのこ(露地栽培)栽培管理取組事項

※ロットNo.欄に実施した取組事項に○をしてください。

生産者氏名()

【仮伏せ(施設)の管理】

行程番号	行程	区分	取組事項	ロットNo.1	No.2	No.3	No.4	No.5	
⑥-2	仮伏せ 施設内	空間線量率の測定	・空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行いましたか						
			・表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷きましたか						
		環境整備	・施設(ハウス)周辺にスギ・ヒノキなど常緑針葉樹林がある場合、枝葉を除去しましたか						
			・既存施設(ハウス)は、シートの張り替え、洗浄を行いましたか						
			・ハウスのシート、施設(ハウス)の出入り口を二重にしましたか						
			・施設(ハウス)内専用の履き物を用意しましたか						
			・原木・ほだ木を施設(ハウス)内に持ち込む場合、原木・ほだ木に付着した粉塵、土などを洗浄しましたか						
			・換気は必要最小限にし、風下側で行うようにするほか、換気施設にフィルターをつけましたか						
			・ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけないようにしましたか						
			・ハウス内の清掃、洗浄を行いましたか						
放射性物質量の低減	・散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用しましたか								
	・ハウス外の貯水槽は洗浄後使用し、ふた等をしましたか。貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理しましたか								

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。
 ※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲で行いましょう。

【チェックシート⑦-1. ⑧】放射性物質低減のための原木きのこ(露地栽培)栽培管理取組事項

※ロットNo.欄に実施した取組事項に○をしてください。 (生産者氏名)

5ページ

【本伏せ(野外), ほだ木の洗浄管理】

行程番号	行程	区分	取組事項	ロットNo.1	No.2	No.3	No.4	No.5
⑦-1	本伏せ 野外	空間線量率の測定	<ul style="list-style-type: none"> 空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行いましたか 下層植生、落葉等腐食層、表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷きましたか スギ、ヒノキなど常緑針葉樹林内の場合、遮光も勘案しながら枝葉を除去しましたか 既存人工ほだ場は必要に応じ、遮光ネットの張り替え、洗浄を行いましたか 直接スギなど枝葉から垂れる雨水が当たらないように、ほだ木を列ごとに寒冷紗・遮光ネットで覆いましたか ほだ木への土の跳ね返り防止のため、砂利、木材チップ、かや、シートなどを敷きましたか 散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用しましたか 					
		放射性物質量の低減	<ul style="list-style-type: none"> 山水を使用する場合は、放射性物質の値を確認し、浮遊物、沈殿物を除いて使用しましたか ハウスの貯水槽は洗浄後使用し、ふた等をしましたか。貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理しましたか 空間線量率の高い場所からの風を入れないように防風ネットを活用しましたか 原木クリタケ栽培などで覆土などをする場合、汚染していない赤玉土、鹿沼土など使用しましたか 					
⑧	ほだ木の洗浄	ほだ木の放射性物質量の低減	<ul style="list-style-type: none"> 浸水、洗浄機、高圧洗浄機、ブラシ等によりほだ木を洗浄しましたか 洗浄時に発生した、沈殿物・浮遊物を濾過し回収しましたか 					

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。
 ※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲で行いましょう。

【チェックシート⑦-2, ⑧】放射性物質低減のための原木きのこ(露地栽培)栽培管理取組事項

※ロットNo.欄に実施した取組事項に○をしてください。

生産者氏名()

【本伏せ(施設)の管理】

行程番号	行程	区分	取組事項	ロットNo.1	No.2	No.3	No.4	No.5
⑦-2	仮伏せ 施設内	空間線量率の測定	<ul style="list-style-type: none"> 空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行いましたか 表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷きましたか 施設(ハウス)周辺にスギ・ヒノキなど常緑針葉樹林がある場合、枝葉を除去しましたか 既存施設(ハウス)は、シーートの張り替え、洗浄を行いましたか ハウスのシート、施設(ハウス)の出入り口を二重にしましたか 施設(ハウス)内専用の履き物を用意しましたか 原木・ほだ木を施設(ハウス)内に持ち込む場合、原木・ほだ木に付着した粉塵、土などを洗浄しましたか 換気は必要最小限にし、風下側で行うようにするほか、換気施設にフィルターをつけましたか ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけないようにしましたか ハウス内の清掃、洗浄を行いましたか 散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用しましたか ハウス外の貯水槽は洗浄後使用し、ふた等をしましたか。貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理しましたか 浸水、洗浄機、高圧洗浄機、ブラシ等によりほだ木を洗浄しましたか 洗浄時に発生した、沈殿物・浮遊物を濾過し回収しましたか 					
		放射性物質量の低減						
⑧	ほだ木の洗浄	ほだ木の放射性物質量の低減						

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。
 ※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲で行いましょう。

【チェックシート⑨、⑩】放射性物質低減のための原木きのこ(露地栽培)栽培管理取組事項

※ロットNo.欄に実施した取組事項に○をしてください。

生産者氏名()

【発生前検査・発生・休養の管理】

行程番号	行程	区分	取組事項	ロットNo.1	No.2	No.3	No.4	No.5
⑨(必須)	発生前ほど木の管理	ほど木の放射性物質検査	・指標値(50Bq/kg)以下のほど木を使用していますか					
		空間線量率の測定	・空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行いましたか					
		環境整備	・下層植生、落葉等腐食層、表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷きましたか					
			・スギ、ヒノキなど常緑針葉樹林内の場合、遮光も作業しながら枝葉を除去しましたか					
			・既存人工ほど場は、遮光ネットの張り替え、洗浄を行いましたか					
			・直接スギなど枝葉から垂れる雨水が当たらないように、ほど木を列ごと寒冷紗・遮光ネットで覆いましたか					
			・休養工程では、ほど木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけないようにしましたか					
			・ほど木への土の跳ね返り防止のため、砂利、木材チップ、かや、シートなどを敷きましたか					
			・浸水、散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用しましたか					
			・山水を使用する場合は、放射性物質の値を確認し、浮遊物、沈殿物を除いて使用しましたか					
			・ハウス外の貯水槽は洗浄後使用し、ふた等をしましたか。貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理しましたか					
			・空間線量率の高い場所からの風を入れないように防風ネットを活用しましたか					
			・原木クワタケ栽培などで覆土などとする場合、汚染していない赤玉土、鹿沼土など使用しましたか					

⑩ 発生、休養 野外

放射性物質量の低減

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。
 ※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲で行いましょう。

【チェックシート⑪～⑭】放射性物質低減のための原木きのこ(露地栽培)栽培管理取組事項

※ロットNo.欄に実施した取組事項に○をしてください。

生産者氏名()

【収穫・検査・乾燥・選別の管理】

行程番号	行程	区分	取組事項	ロットNo.1	No.2	No.3	No.4	No.5
⑪	収穫	放射性物質量の低減	・収穫物は、収穫後すみやかに室内に保管しましたか					
⑫(必須)	きのこの管理	きのこの放射性物質検査	・食品の基準値(100Bq/kg)以下であることを確認しましたか					
⑬	乾燥	環境整備	・既存施設(ハウス)は、シートの張り替え、洗浄を行いましたか					
			・ハウスのシート、施設(ハウスの)出入り口を二重にしましたか					
			・施設(ハウス)内専用の履き物を用意しましたか					
⑭	選別・包装・保管	放射性物質量の低減	・乾燥は室内で行い、天日乾燥はしていませんか。					
			・乾燥機、エビラ、床は使用ごとに清掃しましたか					
			・選別・包装は室内で行いましたか					
⑭	選別・包装・保管	環境整備	・包装資材は室内で保管しましたか					
			・使用機材、作業台、床は使用ごとに清掃しましたか					

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。
 ※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲で行いましょう。

【チェックシート共通】放射性物質低減のための原木きのこ(露地栽培)栽培管理取組事項

※ロットNo.欄に実施した取組事項に○をしてください。

生産者氏名()

【共通の管理】

行程番号	行程	区分	取組事項	ロットNo.1	No.2	No.3	No.4	No.5
共通	ロット管理	ロット管理	・ほだ木のロット管理を徹底しましたか					
	体内への放射性物質の取込防止	体内への放射性物質の取込防止	・帽子、マスク、手袋、長靴を着用しましたか					
	体内への放射性物質の取込防止	体内への放射性物質の取込防止	・手足、顔など裸出部分を石けんなどで洗浄しましたか					
	使用機械等の放射性物質量の低減	使用機械等の放射性物質量の低減	・使用した機械、機材、資材は使用後に洗浄し、放射性物質が付着しないように保管しましたか					
	放射性物質汚染物の処分	放射性物質汚染物の処分	・処分方法が決まった場合は、執行者の指示に従い処分する					
トレーサビリティ対応	トレーサビリティ対応	・処分場が決まっていない場合、仮置き場を設置し、まとめて保管する。その際、シートなど被せましたか						
			・生しいたけ栽培は3年間、乾しいたけ栽培は5年間記録、保存する。しいたけ以外のきのこは発生年数を考慮して記録、保存期間を設定しましたか					

※必須事項は国のガイドラインで必須となっている事項で、出荷制限解除の際は必ず行う必要があります。

※必須事項以外は重要事項となります。実施可能な範囲で行いましょう。

【記録シート①】栽培管理記録シート(ロット管理, 原木・ほだ木・きのこの管理) (生産者氏名)
 ※放射能測定検査機関の検査結果等は記録シートと併せて保管して下さい。※検体はロットごと3検体測定して下さい。(出荷制限解除時は複数回測定必要)

ロット番号	ロット管理(場所, 種類, 植菌年が同じものを1つのロットとしてください。)					自伐・立木購入の原木・購入原木の管理		
	ほだ場の場所	種類(林内, 裸地, 人工, ハウス)	植菌年	本数	調達方法 (自伐, 立木 購入, 原木 購入)	産地・業者名	放射能物質濃度測定 機関	放射能物質濃度 (セシウム134+セシウム137) (Bq/kg)
1								① Bq/kg ② Bq/kg ③ Bq/kg
2								① Bq/kg ② Bq/kg ③ Bq/kg
3								① Bq/kg ② Bq/kg ③ Bq/kg
4								① Bq/kg ② Bq/kg ③ Bq/kg
5								① Bq/kg ② Bq/kg ③ Bq/kg

【記録シート①】栽培管理記録シート(ロット管理, 原木・ほだ木・きのこの管理) (生産者氏名)
 ※放射能測定検査機関の検査結果等は記録シートと併せて保管して下さい。※検体はロットごと3検体測定して下さい。(出荷制限解除時は複数回測定必要)

ロット番号	購入ほだ木管理			発生前ほだ木の管理			きのこの管理		
	産地・業者名	放射性物質濃度測定年月日	放射性物質濃度 (セシウム134+セシウム137) (Bq/kg)	放射性物質濃度測定年月日	放射性物質濃度 (セシウム134+セシウム137) (Bq/kg)	放射性物質濃度測定機関	放射性物質濃度 (セシウム134+セシウム137) (Bq/kg)		
1			① Bq/kg				① Bq/kg		
			② Bq/kg				② Bq/kg		
			③ Bq/kg				③ Bq/kg		
2			① Bq/kg				① Bq/kg		
			② Bq/kg				② Bq/kg		
			③ Bq/kg				③ Bq/kg		
3			① Bq/kg				① Bq/kg		
			② Bq/kg				② Bq/kg		
			③ Bq/kg				③ Bq/kg		
4			① Bq/kg				① Bq/kg		
			② Bq/kg				② Bq/kg		
			③ Bq/kg				③ Bq/kg		
5			① Bq/kg				① Bq/kg		
			② Bq/kg				② Bq/kg		
			③ Bq/kg				③ Bq/kg		

【記録シート②】出荷・販売記録シート（生産者氏名)

No.	ほだ場 ロット番号 ※シート① から選択	出荷・販売月日	出荷・販売相手	出荷箱数	正味総重量(kg)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

関係書類添付欄

(栽培管理に関する領収書, 契約書写し等)

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying the majority of the page below the text. It is intended for the attachment of documents related to cultivation management, such as receipts and contract copies.

出荷制限解除後の検査計画と出荷管理

1 出荷制限を解除する範囲

栗原市（旧若柳町）から産出されるたけのこ

2 経過及び解除申請の理由

(1) これまでの経過

平成24年6月28日に栗原市内のたけのこ2検体を検査した結果、食品の基準値を超える放射性セシウム（330ベクレル/kg・110ベクレル/kg）が検出されたため、同年6月29日に出荷制限が指示された。

平成24年春～平成27年春に、同市内においてモニタリング調査を行ったところ、各地点で、低下傾向・低水準にあることを確認した。

平成28年春にたけのこが安定して基準値を下回ることが確認できるよう同市旧若柳町内のたけのこ生産者の竹林から満遍なく検体を採取し55検体の検査を実施したところ、2地点で安全が確認できなかったことから、出荷制限解除は困難であると判断した。

平成29年春に、平成28年春に基準値の1/2を超過した地点等において安全を確認するため15検体の追加検査を実施した。

(2) 検査結果

平成28年度の詳細検査の結果では、検体を採取した55検体のうち基準値の1/2を超過した竹林が2竹林あったものの、区域全体では放射性物質濃度が基準値の1/2を概ね下回っており（平均値21Bq/kg、95パーセンタイル値は60.2Bq/kg）放射性物質濃度が低下傾向・低水準であることを確認した。

さらに、平成29年春に、局所的な安全性を確認するため、平成28年度詳細検査で基準値の1/2を超過した竹林及び周辺竹林から、15検体の検査を実施した結果、全て基準値の1/2を大きく下回っており、平成28年度と平成29年度追加検査データをもって、同市旧若柳町内のたけのこが安定して基準値を下回っていることを確認した。

3 宮城県における管理計画

(1) 解除後の検査計画

たけのこの発生状況を確認しながら、3検体以上の出荷前検査を行い、基準値以下であることを確認した上で出荷する。

また、出荷されるたけのこの安全性を確保するため、過去の検査で50Bq/kgを超えた竹林に加え、過去に検査を行っていない竹林から出荷しようとする場合は、県が検査を行い、基準値以下であることを確認する。

さらに、発生期間の1週間に1回を基準とした定期検査を実施する。

(2) 解除後の出荷管理

宮城県は栗原市、たけのこ生産者等と連携し、同市内でたけのこ生産を行う生産者について、生産者ごとに、竹林所在地、出荷先、出荷量などを記録した台帳を作成して、生産者あてに登録書を送付する。なお、記載内容等の変更があった場合は、その都度台帳を更新し、登録書を再度送付する。

(3) 生産指導の実施

宮城県は栗原市と連携し、生産者に対して、たけのこの放射性セシウム濃度の低減効果が期待される竹林の伐竹などの栽培管理を指導する。

(4) 出荷制限地域のたけのこが出荷されないことの確保

ア 生産者対策

宮城県と市町村は連携し、県内で出荷制限が継続されている市町村がある場合は、これまで同様、当該市町村に対し、出荷を行わないよう生産者等関係者に要請するとともに、生産者への周知を行う。

イ 流通対策

宮城県と市町村は連携し、宮城県内で出荷制限が継続されている市町村がある場合は、これまで同様、JA、直売所、卸売市場等に対し、出荷制限地域のたけのこを扱わないことや、市町村名の表示がないたけのこについては、生産地の市町村名を確認のうえ、適切な表示により流通させることを要請するとともに、これら流通拠点を巡回指導する。

また、定期的にインターネット上で監視を行い、出荷制限地域のたけのこが販売されていないかを確認する。

(5) 検査により基準値を超える結果が判明した場合の対応

宮城県は、速やかに栗原市（旧築館町、旧志波姫町、旧高清水町、旧瀬峰町、旧若柳町）のたけのこの出荷自粛を要請する。

(6) 生産者等へ周知

宮城県は栗原市と連携し、本計画の内容について、生産者等に周知を図るとともに、関係機関・団体に協力を求める。

○宮城県栗原市(旧若柳町)のたけのこ検査結果【平成28, 29年度】

番号	測定日	たけのこ
		検査結果 (Bq/kg)
1	平成28年6月8日	<13
2	平成28年6月8日	<18
3	平成28年6月8日	<14
4	平成28年6月9日	<15
5	平成28年6月13日	12
6	平成29年6月5日	<7.4
7	平成29年6月5日	<7.4
8	平成29年6月5日	<7.0
9	平成29年6月5日	<9.3
10	平成29年6月5日	<7.3
11	平成29年6月5日	4.5
12	平成28年6月8日	34
13	平成28年6月8日	43
14	平成28年6月22日	32
15	平成28年6月29日	36
16	平成28年6月29日	31
17	平成28年6月22日	29
18	平成28年6月8日	12
19	平成28年6月8日	<19
20	平成28年6月8日	<16
21	平成28年6月13日	<17
22	平成28年6月29日	15
23	平成28年6月29日	12
24-1	平成28年6月29日	99
24-2	平成29年5月22日	4.2
25-1	平成28年6月29日	99
25-2	平成29年5月22日	9.6
26	平成28年7月13日	50
27-1	平成28年7月13日	63
27-2	平成29年5月22日	<7.3
31	平成28年6月29日	<14
32	平成28年6月29日	<19
33	平成28年6月29日	<15
34	平成28年6月29日	<16
35	平成28年6月29日	<15
36	平成28年6月29日	<16
37	平成28年6月29日	<14
38	平成28年6月8日	21
39	平成28年6月8日	16
40	平成28年6月8日	8.9
41	平成28年6月13日	29
45-1	平成28年6月29日	<13
45-2	平成29年7月11日	20
46-1	平成28年6月29日	<15
46-2	平成29年7月11日	15
47	平成28年6月29日	<15
48	平成28年6月29日	7.3
49	平成28年6月29日	<18

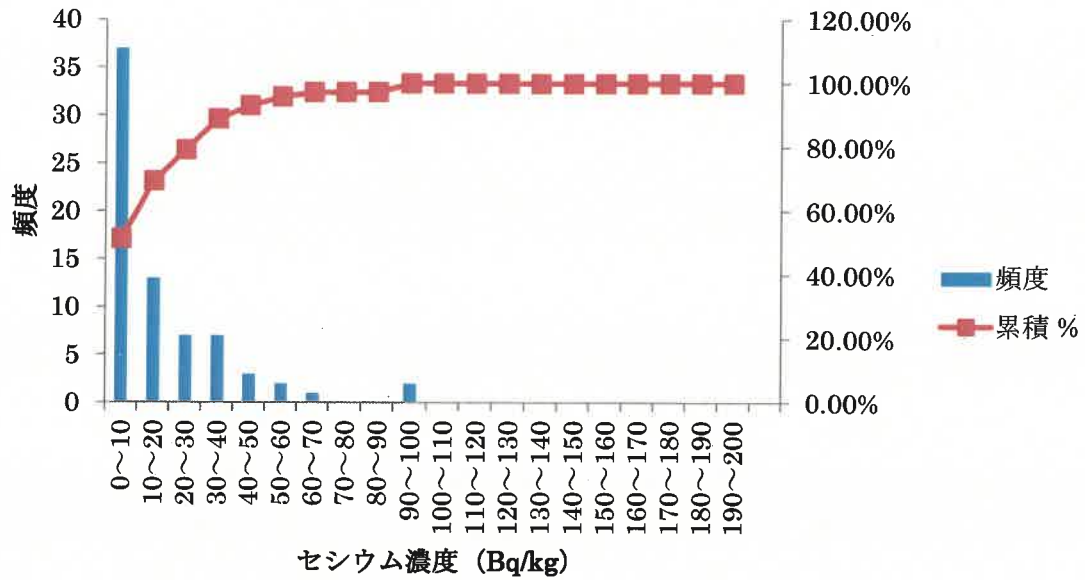
52	平成28年6月9日	<14
53	平成28年6月8日	<17
54-1	平成28年6月29日	49
54-2	平成29年7月11日	24
55	平成28年6月23日	31
56	平成28年6月23日	39
57	平成28年6月29日	25
58	平成28年6月29日	37
59-1	平成28年6月23日	40
59-2	平成29年7月11日	21
60-1	平成28年6月23日	59
60-2	平成29年7月11日	13
61	平成28年5月31日	11
62	平成28年5月31日	<19
63	平成28年5月31日	10
64	平成28年5月31日	16
65	平成28年6月29日	<17
66	平成28年6月29日	<16
67	平成28年6月29日	<16
68	平成28年6月29日	10
69	平成28年6月29日	<15
70	平成29年5月16日	15

実測値 真数値

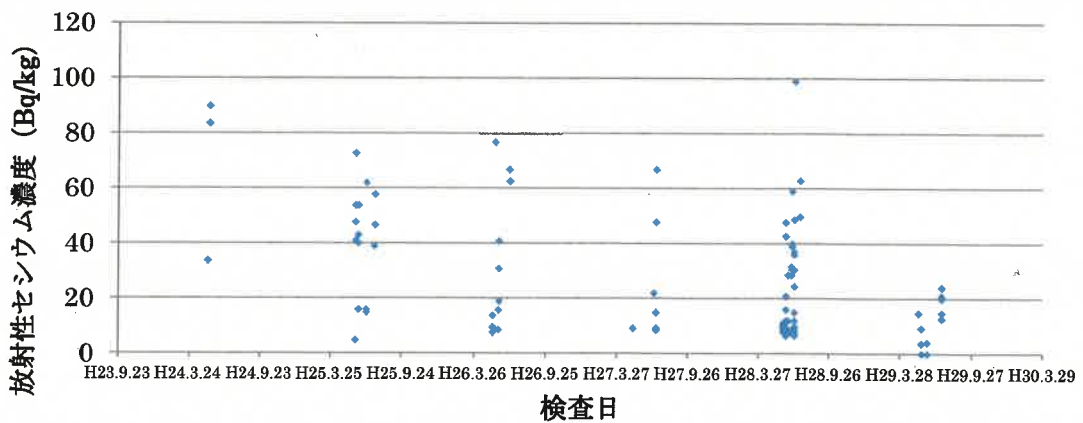
平均値	18.9	12.94399903
最大値	99.0	99
最小値	3.5	3.5
中央値	9.6	9.549869109
標準偏差	19.7	2.296096413
95パーセンタイル値		50.79773873
標本数	70	

注:「不検出」のデータには、最低下限値の1/2を代入して計算
 ※同一検体番号で2年検査しているものについては、
 H28を枝番1, H29を枝番2として整理した。

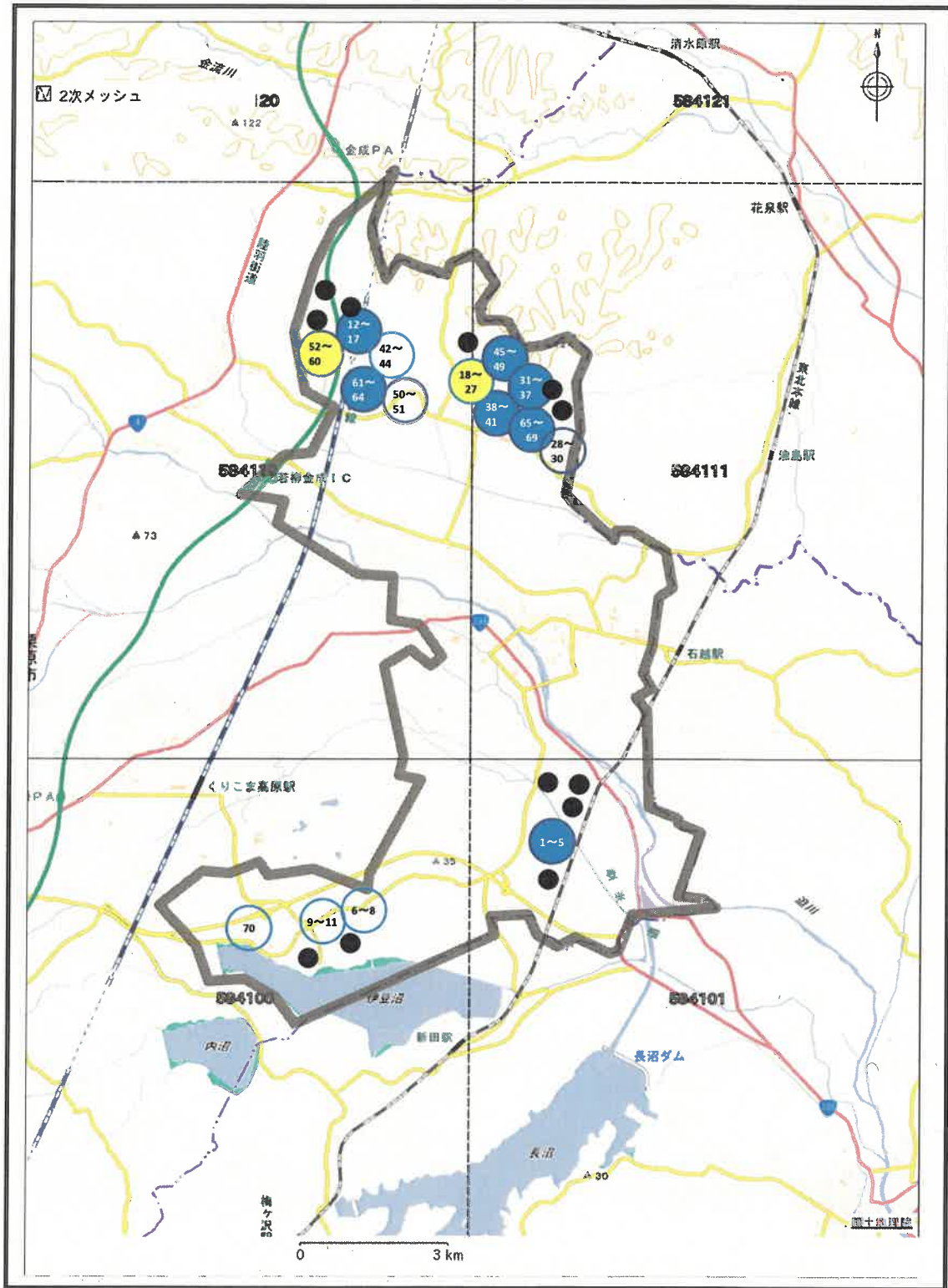
たけのこのセシウム濃度 (宮城県栗原市 (旧若柳町))



たけのこのセシウム濃度の推移 (宮城県栗原市 (旧若柳町))



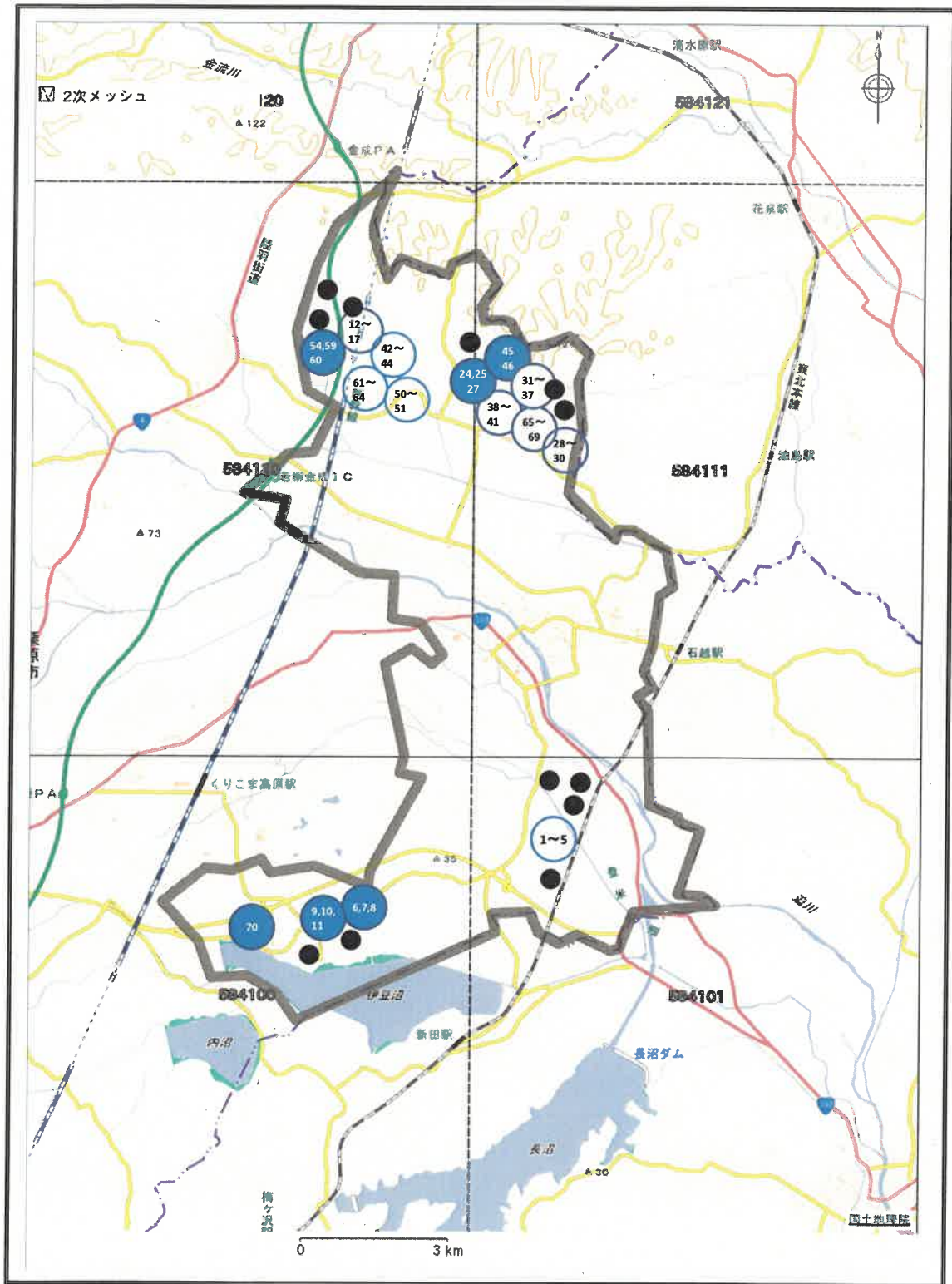
宮城県栗原市(旧若柳町)たけのこに係るH28検査結果竹林分布図



凡例	
●	100Bq/kg超過
●	50Bq/kg超過100Bq/kg以下
●	50Bq/kg以下
	H24~27, H29 検査箇所
●	未検査竹林

10km×10km
自然環境調査 2次メッシュ図

宮城県栗原市(旧若柳町)たけのこに係るH29検査結果竹林分布図



凡例	
●	100Bq/kg超過
●	50Bq/kg超過100Bq/kg以下
●	50Bq/kg以下
	H24~28 検査箇所
●	未検査竹林

10km × 10km
 自然環境調査 2次メッシュ図